

(川道函館霊柩自動車協会会長より：情報提供)

・・・米国 国防総省 同級生より・・・

☆化学防護服（かがくぼうごふく）とは、一般的に有毒気体（いわゆる毒ガス）や病原体となるウイルス（天然痘など）といったものの付着や吸引を防ぐための、保護を目的とする特殊な被服である

防護衣（ガウン、エプロン、等） 米国医科器械学会（英：Association for the Advancement of Medical Instrumentation, AAMI）による液体防御性能基準が、レベル1～4で設定されている。大量の血液や微生物汚染が想定される場合はレベル2以上のガウンの使用が勧められる。単回使用（ディスポーザブル）が望ましく、長袖で袖口の締まったものが推奨される。

手袋 経済的観点などからラテックスゴム製が使われてきたが、アレルギーに配慮するためニトリルゴム製も使用されている。プラスチック製もあるが、伸縮性が悪く装着感が悪い。ASTM インターナショナル（旧称・米国試験材料協会（英：Society of Testing and Materials International）による ASTM 規格と日本工業規格（JIS

規格)により規定されている。手袋の着用は手洗いの代用にはならない。

防護服種類

タイプ1

液体と気体の化学物質から防護 (EN 943 part 1)。米国式レベル A とほぼ同等。

タイプ2

液体と気体の化学物質から防護し、非機密性 (同)。米国式レベル B (ガス状の化学物質が体の外部に有害でない場所で使用できる) とほぼ同等。

タイプ3

限られた時間、液体化学物質から保護、ジェット噴出する液体から防護 (Liquid jet tight) (EN 14605)。

タイプ4

限られた時間、液体化学物質から保護、液体飽和から防護 (Liquid saturation tight) (EN 14605)。米国式レベル C とほぼ同等。

タイプ5

限られた時間、空中の乾燥微粒子から保護（EN ISO 13982-1）。

タイプ6

液体化学物質の軽いスプレー状または液体から保護（EN 13034）。米国式レベル D とほぼ同等。

マスク

咳をしている人から呼吸器由来の感染性分泌物が飛散されるのを防ぐためにも使われる^[9]。サージカルマスクは直径 5 μ m までの粒子を除去でき、結核菌や麻疹ウイルスなど直径 5 μ m 以下の飛沫核による空気感染が懸念される感染症は、N95 マスクが必要となる¹⁾。

☆そもそも N95 とは米国立労働安全衛生研究所 (NIOSH) の規格で、直径 0.3 マイクロメートルの微粒子を 95%以上捕集する能力がある。

ゴーグル・フェイスシールド

湿性生体物質の飛沫が飛散する場合、曝露から結膜（眼部、鼻腔、口腔粘膜）を防護するために用いる。

本年1月からのコロナウイルス 今までの研究結果です・・・

上記 列記した以外の「物」はおすすめできないと・・・

弊社備蓄品は すべてにおいて タイプ1及びレベルAです・・・